

平成18年度事業計画書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

【1】研究助成事業 (97,574万)

1. 公募研究助成 (2,200万)

(1) 公募自由課題研究助成 (@100万×10課題=1,000万)

臨床・予防医学・疫学・基礎医学に対する自由課題による研究助成

(2) バイエル循環器病研究助成 (@500万×1課題・@250万×2課題=1,000万)

[テーマ] 脳虚血の治療

(3) 循環器疾患看護研究助成 (@20万×10課題=200万)

循環器疾患看護に対する研究助成

2. 指定研究助成 (84,504万)

個別研究

(1) 血管病変の早期診断法における画像処理技術の向上に関する研究 (1,140万)

[研究代表者] 国立循環器病センター放射線医学部 部長・飯田秀博

(2) 標準化可能な実験的脳卒中あるいは動脈硬化病態モデルの開発とそれらを用いた (332万)

新規合成化合物の薬効評価に関する研究

[研究代表者] 国立循環器病センター研究所病因部 部長・宮田敏行

(3) 高脂血症に関わる新規遺伝子および蛋白質の検索 (1,159万)

[研究代表者] 国立循環器病センター 病院長・友池仁暢

多施設共同研究

- (4) 電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する研究 (HOMED-BP) (4,180 万)
[研究代表者] 東北大学大学院医学系研究科 教授・今井 潤
- (5) 虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS) (8,085 万)
[研究代表者] 京都府立医科大学 教授・西村恒彦
- (6) 心筋梗塞症急性期および慢性期の薬剤を用いた治療に関する大規模薬剤効果比較試験 (J-WIND) (20,000 万)
[研究代表者] 国立循環器病センター心臓血管内科部門 部長・北風政史
- (7) スタチン製剤による心血管系への多面的作用—変性による大動脈弁狭窄進展と慢性心房細動における脳卒中に対するスタチン製剤の効果 (STACIN) (1,000 万)
[研究代表者] 柏市立市民病院 院長・中 眞砂士
- (8) 急性期脳梗塞患者における抗血栓薬および脳保護薬の併用療法に関する研究 (East-Study) (34,402 万)
[研究代表者] 国立循環器病センター 名誉総長・山口武典
- (9) 孤立性収縮期高血圧におけるバルサルタンによる心血管事故発生頻度に対する検討 (VALISH) (8,103 万)
[研究代表者] 大阪大学大学院医学系研究科 教授・荻原俊男
- (10) 糖尿病動脈硬化症の発症予防と進展阻止に関する抗血小板薬治療効果の研究 (DAPC Study) (2,057 万)
[研究代表者] 順天堂大学医学部附属順天堂医院内科・代謝内分泌学 教授・河盛隆造
- (11) 軽症糖尿病に対する薬物介入による冠動脈病変の進展予防効果に関する臨床研究 (DIANA 研究) (2,340 万)
[研究代表者] 近畿大学医学部循環器内科 教授・宮崎俊一
- (12) 家庭血圧に基づいた高血圧の至適治療に関する大規模臨床試験 (HOSP 研究) (570 万)
[研究代表者] 国立循環器病センター腎・高血圧内科部門 部長・河野雄平
- (13) 弁置換術後の脳梗塞発症及び脳高次機能異常予防のための標準的抗凝固療法確立に関する研究 (JaSWAT-1) (950 万)
[研究代表者] 国立循環器病センター心臓血管外科部門 部長・小林順二郎

- (14) 心臓弁手術後に発症する高次脳機能異常のメカニズムと理想的な抗凝固療法の確立に関する研究 (JaSON) (185万)

[研究代表者] 国立循環器病センター脳血管内科部門 医長・長束一行

3. 学会助成 (10,470万)

- (1) 第14回アジア心臓血管外科学会 (2,425万)

[会長] 国立循環器病センター 総長・北村惣一郎

[会期] 平成18年6月1日～3日

[会場] 大阪国際会議場

- (2) 第21回国際高血圧学会 (5,246万)

[会長] 大阪大学大学院医学系研究科加齢医学講座 教授・荻原俊男

[会期] 平成18年10月15日～19日

[会場] 福岡国際会議場、福岡サンパレス、マリンメッセ福岡

- (3) 2006年国際高血圧学会福岡サテライトシンポジウム (584万)

[実行委員長] 滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学 教授・上島弘嗣

[会期] 平成18年10月20日

[会場] 九州大学医学部百年講堂

- (4) 第48回日本老年医学会学術集会 (1,453万)

[会長] 金沢医科大学高齢医学 教授・松本正幸

[会期] 平成18年6月7日～9日

[会場] 石川県立音楽堂ほか

- (5) 第28回日本臨床栄養学会学術集会および第27回日本栄養協会学術集会
第4回連合大会 (760万)

[会長] 国際医療福祉大学附属熱海病院内科 教授・都島基夫

[会期] 平成18年9月1日～3日

[会場] 学術総合センター (東京都千代田区)

4. 研究・研修者助成 (400万)

- (1) 国内外研修派遣助成 (200万)

国内外において実施される効率的な研修に派遣される医療技術者に対する助成

- (2) 国際協同研究等派遣助成 (200 万)
海外で開催される学会・協同研究等に派遣される研究者に対する助成

【2】普及支援事業 (2,850 万)

1. 研究業績発表 (150 万)

- (1) 研究業績集の発行 (50 万)
公募研究助成による前年度の研究の成果をまとめ、国立病院・大学・研究所等へ配布 (200 部)

- (2) バイエル循環器病研究助成発表会 (100 万)
バイエル循環器病研究助成による前年度の研究の成果を関連学会において発表
[テーマ] 心不全の治療
[会場] 第10回日本心不全学会学術集会 (都市センターホテル)
[会期] 平成18年10月15日 (日)

2. 学術活動支援 (500 万)

循環器病に関するセミナー等に対する支援

3. 移植医療支援 (500 万)

循環器病疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援

4. 予防啓発活動 (1,050 万)

- (1) 季報 (160 万)
年間4回季報 (別冊を含む。) を発行し、国立循環器病センターをはじめ関係国立病院・関係先などに配布
・季報 : 各 500 部 @20 万×4 号=80 万
・別冊 : 10,000 部 @80 万

- (2) パンフレット (855 万)
【知っておきたい循環器病あれこれ】の新刊および増刷
循環器病の予防啓発パンフレットをシリーズで隔月に 15,000 部発行し、国立循環器病センター、健康保険組合、各種講演会などで配布
・新刊 : @110 万×6 号=660 万
・増刷 : @ 65 万×3 号=195 万

(平成18年度発行予定)

56	脳血管のカテーテル治療	国立循環器病センター 医長 村尾健一	平成18年5月1日
57	大動脈瘤の治療	国立循環器病センター 医長 荻野 均	平成18年7月1日
58	最近の高血圧の治療	国立循環器病センター 部長 河野雄平	平成18年9月1日
59	血液浄化とは	国立循環器病センター 医長 中濱 肇	平成18年11月1日
60	心筋梗塞の新しい治療 血管新生・心筋再生	国立循環器病センター研究所 部長 永谷憲歳	平成19年1月1日
61	メタボリックシンドロームとは	国立循環器病センター 部長 吉政康直	平成19年3月1日

(3) ホームページ (メンテナンス管理)

(35万)

<http://www.jcvrf.jp/index.html>

5. その他支援

(650万)

腎不全医療用機器等の整備支援

【3】国庫補助金事業 (特別会計)

(3,953万)

厚生労働科学研究 (循環器疾患等生活習慣病対策総合研究) 推進事業

事業区分	予算 (千円)	積算内訳
1. 外国人研究者招へい事業	2,242	2人、14日
2. 外国への日本人派遣事業	6,830	1人、6ヶ月
3. 研究成果等普及啓発事業	2,138	研究者向け発表会2日、一般国民向け1日
4. 研究支援者等活用事業	27,424	8人、12ヶ月
5. 研究支援事業	900	委員会謝金・旅費等
計	39,534	

【4】収益事業 (特別会計)

(1,525万)

先進医工学センターサイクロトロンおよびMRI操作管理業務請負事業